

第126回 ふじのくに防災学講座

- 日 時 令和2年9月19日（土）午前10時30分～正午
- 会 場 静岡県地震防災センター2階ないふるホール（静岡市葵区駒形通5丁目9-1）

テーマ 「台風と危険度分布」

講 師 静岡地方気象台 防災気象官 望月 司 氏

（講演概要）

梅雨の時期が終わり、今後はいよいよ台風の時期がやってきます。

台風が接近すると、暴風、高波、高潮、大雨などの災害から身を守るための準備が必要になります。台風は太平洋上で発生してから接近するに従って、徐々に気象庁から発せられる気象情報がより詳しくなってきます。また、台風のとみに限らず、大雨による危険が見込まれる際には、土砂災害、洪水害、浸水害の3つに分けて、10分毎に1キロメッシュで危険度の情報が発せられます。

今回、台風とはどういうものか、また、台風が接近したときや大雨のおそれがあるときに、どのように気象情報を活用すればよいかについてお話します。

